

新型コロナウイルス感染拡大防止のために通院予約を延期している 矯正歯科治療中の患者さんへ

基本的なお願い

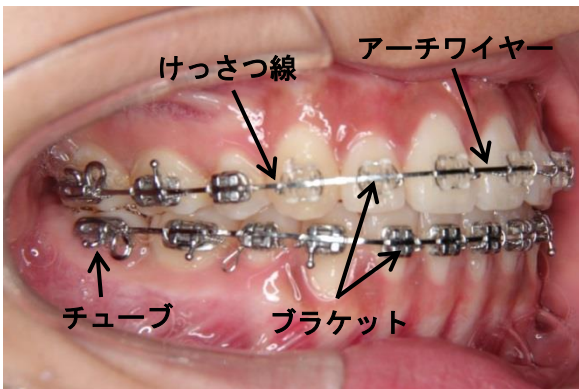
1. 矯正歯科治療についての不安や装置の破損については、ご自身で判断なさらずにかかりつけの矯正歯科医院へご相談ください。
2. 固定式の装置であれ取り外し式の装置であれ矯正歯科治療中の方は、虫歯や歯肉炎になる可能性が高くなります。それらを予防するために鏡を見ながらしっかりと歯みがきをしてください。
3. 糖分を含む甘い飲み物（スポーツドリンクや炭酸入り清涼飲料など）を飲んだ後はむし歯を予防するために水で口をゆすいでください。
4. 装置の破損を防ぐために固い食べ物や粘着性のある食べ物はできるだけ控えてください。

矯正歯科治療中のトラブルへの対処

装置の不具合によると思われる痛みや異変を感じたら、ご自身で判断なさらずにかかりつけの矯正歯科医院へ問い合わせをしてください。しかし、連絡がつかず急を要する場合は以下を参考にして対処ください。

1) マルチブラケット装置に関するトラブルの場合

(個々の歯にブラケットを装着して、ブラケットにワイヤーを通して個々の歯の位置関係を治す装置です。)



1. けっさつ線の結び目が出てきて口の中の粘膜にあたって傷をつけている場合の応急処置

①以下の手順を参考にしてください。

- ・綿棒や割り箸などを利用して出てきたけっさつ線の結び目を傷口にあたらなくなるまでそっと押し込んでください。
- ・けっさつ線の結び目を押し込むことができない場合は、矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などで出てきた結び目全体を覆って傷口にあたらないようにしてください。矯正用ワックス（リリーフワックス）はかかりつけ矯正歯科医院で入手するか、あるいはネットでも購入可能です。

②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

2. ブラケットが口の中の粘膜にあたって傷をつけている場合の応急処置

①矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などでブラケットを覆って傷口にあたらないようにしてください。

②応急処置後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

3. アーチワイヤーの端が突き出て口の中の粘膜にあたって傷をつけている場合の応急処置

- ①矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などで突き出てきたアーチワイヤーを覆って傷口にあたらないようにしてください。
- ②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

4. アーチワイヤーがチューブあるいはブラケットから抜け出てきてしまい口の中でブラブラする場合の応急処置

- ①ブラブラしているアーチワイヤーを矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などで覆ってください。
- ②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

5. ブラケットが外れてしまった場合の応急処置

(1)接着剤で固定されたブラケットが外れてしまった場合

- ①かかりつけ矯正歯科医院に連絡がつかない場合は、ブラブラしているブラケットとその周囲のアーチワイヤーを矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などで覆ってください。
- ②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

(2)セメントで固定されたブラケット付きのバンドが外れてしまった場合

- ①かかりつけ矯正歯科医院に連絡がつかない場合は、ブラブラしているバンドとその周囲のアーチワイヤーを矯正用ワックス（リリーフワックス）や脱脂綿などで覆ってください。
- ②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。

2) 取り外し式の装置に関するトラブルの場合

装置が粘膜にあたって口内に傷ができてしまった場合の応急処置

- ①かかりつけ矯正歯科医院に連絡がつかない場合は、日本薬局方による白色ワセリンを綿棒につけ傷口に塗布してください。傷口が良くなるまで取り外し式の装置の使用時間を短くしてください。
- ②対処後、念のためかかりつけの矯正歯科医院に連絡していただくことをお勧めします。